

高知県感染症発生動向調査（月報）

2025年5月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-821-4696

全国情報

第18週（4月28日～）から第22週（～6月1日）までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における上位6疾患の合計は4週間に換算すると53.50で4月の60.73と比べて減少した。減少の理由は感染性胃腸炎、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの減少である。

新型コロナウイルス感染症について、全国と高知県の定点報告数を図1に示す。12月以降に増加に転じたが大きな流行には至らず減り続けている。2021年から4年連続で7月頃に始まる流行がみられていたが、本年はどうなるだろうか？

1位は感染性胃腸炎で4週間換算値が26.91（4月1位31.60）と減少した。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で10.57（同2位9.30）、3位は伝染性紅斑で6.55（同5位4.31）といずれも増加した。4位は新型コロナウイルス感染症で3.74（同3位7.40）と減少した。5位は流行性角結膜炎で3.18（同6位3.44）と横ばいであった。6位はインフルエンザで2.54（同4位4.68）と減少した。急性呼吸器感染症は224.26で4月の168.14よりも増加した。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	18週	19週	20週	21週	22週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		6.71	5.78	7.68	6.96	6.51	33.64
2	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎		2.29	1.98	3.19	2.84	2.91	13.21
3	伝 染 性 紅 斑		1.16	1.14	2.05	1.97	1.87	8.19
4	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症		1.10	0.94	0.96	0.84	0.84	4.68
5	流 行 性 角 結 膜 炎		0.79	0.75	0.90	0.79	0.75	3.98
6	イ ン フ ル エ ン ザ		0.79	0.67	0.75	0.53	0.44	3.18
	急 性 呼 吸 器 感 染 症		56.51	47.63	60.26	57.29	58.63	280.32

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

上位6疾患の県内における報告数の合計を4週間に換算すると33.31で4月の46.21と比べて減少し全国よりも少なかった（表2）。減少の理由は感染性胃腸炎と新型コロナウイルス感染症の減少によるところが大きい。4月の上位6疾患は次のとおりである。

1位は感染性胃腸炎で4週換算値が13.24（4月1位18.43）と減少し全国よりも少なかった。2位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で9.28（同2位8.43）と増加したが全国よりも少なかった。3位はRSウイルス感染症で3.16（同4位5.15）と減少したが全国よりも多かった。4位は新型コロナウイルス感染症で2.78（同3位7.76）と減少し全国よりも少なかった。5位はインフルエンザで2.53（同5位3.85）と減少し全国と同等だった。6位は伝染性紅斑で2.32（同6位2.59）と減少し全国よりも少なかった。急性呼吸器感染症は141.56（同91.37）と増加したが、全国よりも少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	18週	19週	20週	21週	22週	計
1	感 染 性 胃 腸 炎		2.55	2.80	3.60	3.75	3.85	16.55
2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.25	1.20	2.90	3.55	2.70	11.60
3	RS ウ イ ル ス 感 染 症		1.50	0.70	0.75	0.75	0.25	3.95
4	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症		0.89	0.61	0.66	0.71	0.61	3.48
5	イ ン フ ル エ ン ザ		0.45	0.74	0.76	0.79	0.42	3.16
6	伝 染 性 紅 斑		0.45	0.20	1.15	0.60	0.50	2.90
	急 性 呼 吸 器 感 染 症		29.87	26.58	37.84	40.21	42.45	176.95

図1 新型コロナウイルス感染症報告数
 定点当たり報告数 -全国と高知県-

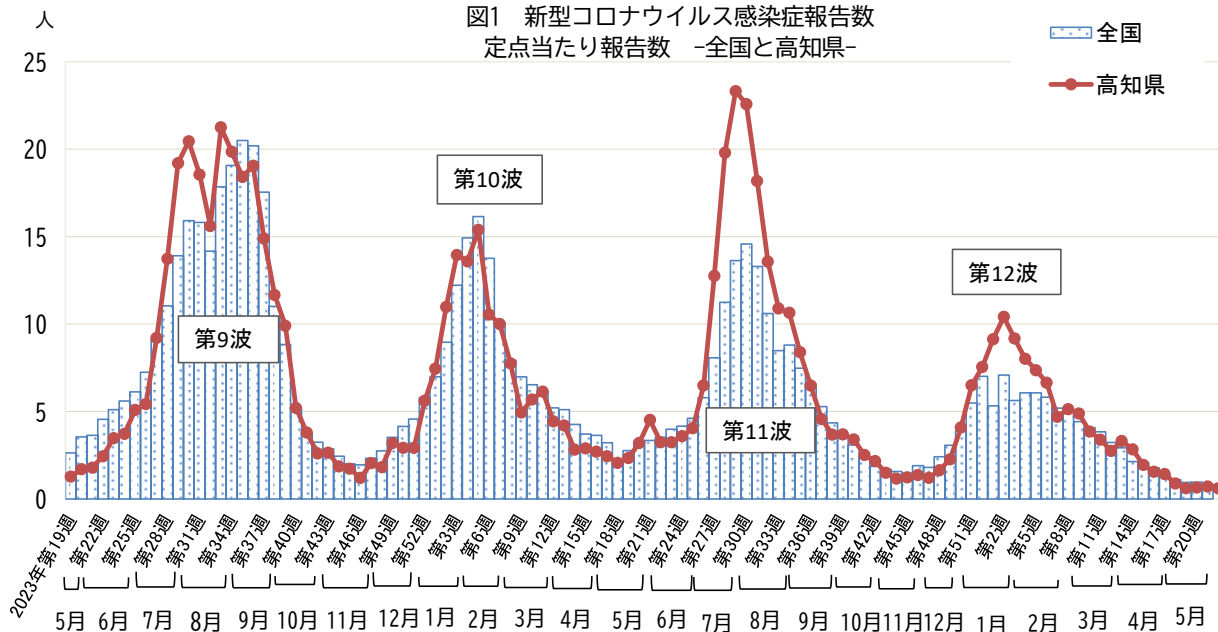
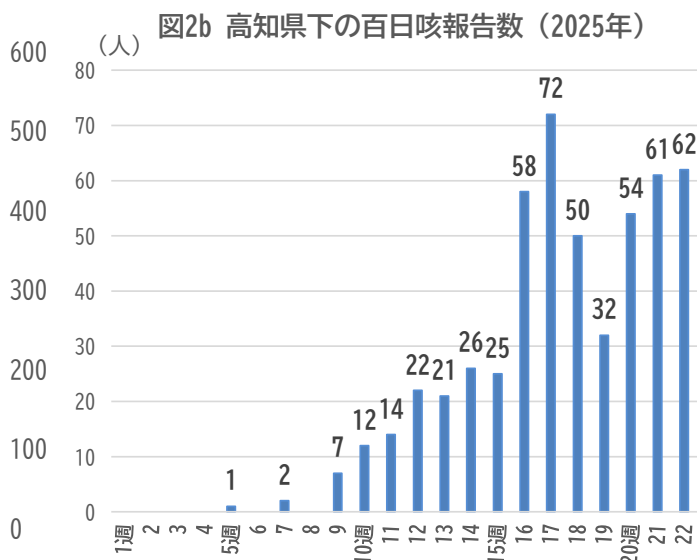
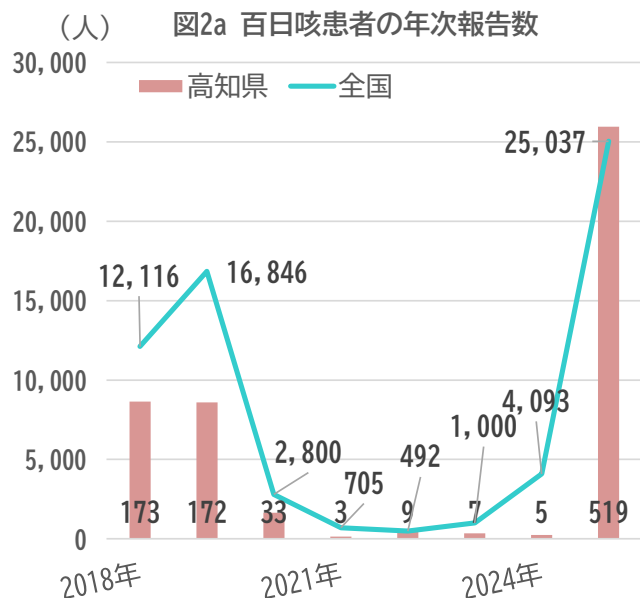


表3 高知県で検出された新型コロナウイルスの変異株

[illegible]



2. 全体の傾向

麻疹、風しんの報告無し。しかし、全国的に麻疹が増加し、第21週までに130名の感染者が報告されている (<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-21.pdf>)。本年は茨城県の21名を筆頭に26都府県で発症がある。四国においても香川県で2名、徳島県で1名が報告されている。患者は20～40歳代が主体で65%を占め、「麻疹は成人の感染症」という認識が重要であるが、乳児が10%、1～4歳が9%報告されていることも忘れてはならない。海外で感染を受けた者（輸入感染例）が61名で、その内訳はベトナムが最多で50名、タイ3名、フィリピン2名、ベトナム/国内2名、ベトナム/大韓民国、カンボジア/ラオス、パキスタン、モンゴル、イタリア/フランス、オランダ/ノルウェーが各1名である。大阪万博が開催されていることも懸念材料で、麻疹含有ワクチンの2回接種の重要性が叫ばれている。2回接種を受けてもまれに麻疹を発症することがあるが、この場合は軽症化し感染力が減弱して修飾麻疹の臨床像をとる。

2月から県下で百日咳の発生届が増加し、6月4日までで534件に昇っている。2020年～24年の年間届け出数は33件、3件、9件、7件、5件であり、新型コロナ流行中は減少していたが、2025年はわずか半年足らずで、全数報告が開始した2018年以降で最大の報告数となった（図2a, 図2b）。東京、大阪、沖縄、鳥取など全国各地でマクロライド系抗剤耐性の百日咳菌の報告が相次ぎ、死亡例も報告されている。高知県では耐性菌の実態を調査中であるが、4月16日～5月28日の百日咳陽性39検体中、マクロライド系抗菌剤耐性は15検体（約38%が耐性）、このうち、5月21日～5月28日は百日咳陽性13検体中、マクロライド系抗菌剤耐性は10検体（約77%が耐性）と耐性率が増加している。

2024年12月に「新生児におけるエコーウイルス11型（E-11）感染症の発生について、厚生労働省から通達」がなされた (<https://www.mhlw.go.jp/content/001345108.pdf>)。さらに、2025年2月6日には、E-11感染症の実態把握を目的に、厚労省は都道府県・保健所設置市に対して、積極的疫学調査の協力依頼を発出した (<https://www.mhlw.go.jp/content/001345107.pdf>)。対象は重症感染症を呈した3か月以下の乳児で、臨床検体すなわち①呼吸器由来検体（咽頭ぬぐい液等）、②消化器由来検体（ふん便や直腸ぬぐい液）、③血清、④髄液）を衛生環境研究所に送付することとなっている。2024年に高知県ではE-11が6件検出されており、重篤となりやすい新生児感染例に注意する必要がある。

3. 主な疾患の発生状況12

1) 急性呼吸器感染症

報告数 6,724名（4月 3,472名）。2025年4月7日からサーベイランスが開始された。高知市、中央西、中央東、幡多、安芸、須崎の順に多く報告された。Rhinovirusが11件、Parainfluenza virus 3型が10件、同4型が1件、Adenovirus 2型が3件、同1型とNTが各1件、Respiratory syncytial virus B型が2件、同A型が1件、Echovirus 18型、human metapneumovirus、Influenza virus B/Victoriaが各1件ずつ検出された。

2) インフルエンザ

報告数 120名（4月 150名）。2024/25シーズンは12月に著増し、1月第2週をピークとして以後は減少したが、第14週にB型ウイルスの流行のため再び増加に転じ、第16週に2つ目のピークを形成した。

県下全域から報告があり、須崎がとくに多かった。ウイルスはAH1pdm09が1月-2月に計17件、AH3 NTが1月～3月に計6件、2月～5月にB/Victoriaが（急性呼吸器感染症の7件を含めて）計12件検出された。

3) 新型コロナウイルス感染症

報告数 132名（4月 309名）。図1に2023年5月以降の定点報告数を示す。年末年始の流行が恒例だったが、大きな流行にはならなかった。

県下全域から報告があり、高知市、中央西、中央東がとくに多かった。県下で採取されたウイルス株の解析結果を表3に示す。2023年10月以降はすべてオミクロン株のBA.2系統群に分類されるウイルスであったが、2025年1月～4月の4カ月間に、新たに登場したXECが6件、XEC.2 22件、XEC.4 8件、XEC.8 2件、XEC.5、XEC.6が各1件検出された。加えて、KP.3が6件、MC.1が4件、MC.28、LP.8、NB.1が各1件検出されている。

4) 咽頭結膜熱

報告数 43名（4月 16名）。2023年10月～2024年3月は、同時期として過去10年間で最多の報告数が続いたが、2024年5月以降は平年並に落ち着いている。須崎、幡多、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。咽頭結膜熱と診断された者からAdenovirus 2型が1件、咽頭結膜熱以外の診断の者からAdenovirus 2型が5件、同1型が2件、同41型、同54型と同NTが各1件検出された。

5) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 232名（4月 175名）。2024年は過去10年間で最多だったが、2025年は平年並で推移している。安芸以外から報告があり、須崎、高知市、幡多、中央西、中央東の順に多かった。細菌は検出されていない。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症の多発が問題となり、2024年は全国から計1,888名が報告され最多を更新し、高知県では7名が報告された。2025年は第20週までに全国で632名、高知県で2名報告され、報告のペースは鈍ってきている。

6) 感染性胃腸炎

報告数 331名（4月 388名）。新型コロナウイルス感染症流行が始まった2020年以降は少ない数で推移していた。2025年3月に増加がみられ、同月としては過去10年間で2016年に次いで2番目に多かったが、4月以降は平年並である。県下全域から報告があり、中央西、幡多、高知市がとくに多かった。Sapovirus genogroup unknownが2件、Adenovirus 41、Rotavirus A G3（4歳児）、同A G8（8歳児）、同A NT（9歳児）が各1件、その他の診断の患者からNorovirus GII NTが1件検出された。

県下でRotavirusの検出数が増えているが、5月に宮城県の小学校で116人の集団感染が報じられた。2020年10月から乳児に対してロタウイルスワクチンが定期化されて乳児例は激減したが、年長児におけるロタウイルス胃腸炎のアウトブレイクに注意が必要である。

7) 水痘

報告数 17名（4月 20名）。ワクチン定期化の効果で少ない数で推移している。須崎、幡多＝中央西、高知市の順に多く報告された。Varicella-zoster virusが2件（5歳児と12歳児）検出された。

8) 手足口病

報告数 40名（4月 7名）。2024年は4月に流行が始まり、6月と10月にピークをつくり二峰性流行（流行株はCoxsackievirus A6、同A10と同A16の3種類）となり、過去10年間で最大流行規模だった。2025年2月に減少していたが、5月は40名に増加した。高知市、中央西、幡多、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

9) 伝染性紅斑

報告数 58名（4月 53名）。2024年10月から増加し、2025年1月以降は過去10年間で同時期として最多を更新し続けている。安芸以外から報告があり須崎がとくに多い。Human parvovirus B19は、重症貧血を起こし（aplastic crisis）、妊婦に感染すると流産の原因となることに注意する。同ウイルスが、伝染紅斑と診断された者から6件、その他と診断された者から3件が検出された。

10) 突発性発疹

報告数 33名（4月 7名）。想定内の変動である。

11) ヘルパンギーナ

報告数 9名（4月 1名）。2022年は過去10年間で最小、翌2023年は最大の流行であった。2024年は5月から流行が始まり6月をピークとする標準的な規模で、原因ウイルスは不明だった。12月に流行は収束したが、20

25年5月は幡多で8名、高知市で1名が報告され、流行の始まりが示唆される。

12) 流行性耳下腺炎

報告数 9名（4月 6名）。2020年5月以降は一桁の報告数で推移している。中央西で4名、中央東と高知市で各2名、須崎で1名が報告された。

13) RSウイルス感染症

報告数 79名（4月 109名）。2021年は過去10年で最大の流行で、2021から4年連続で夏に流行した。2025年は1月に増加に転じ、3-4月は同時期として過去10年間で最多の報告数となったが、3月をピークに減少している。安芸以外の全域から報告があり、とくに多かったのは幡多である。急性呼吸器感染症と合わせるとRS virus A型が5件と同B型が4件検出された。

RSウイルス感染症は、小児全員が罹る気道感染症の中では最も重症で年少児ほど入院のリスクが高い。須崎市では、この疾患を予防するモノクローナル抗体（ニルセビマブ）の保険適応外使用、すなわち基礎疾患のない乳児に対する使用を公費負担で行うことを決め、6月から投与が開始される。日本で初めての試みであり、効果が期待される。

14) 流行性角結膜炎

報告数 6名（4月 7名）。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

15) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（4月 0名）。2017年以降は年間一桁の報告数で推移していたが、2024年は11名に達した。

16) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 1名（4月 1名）。従来は年間20～30名台の報告数で推移していたが、2017年以降は一桁の数で推移している。高知市から50代の患者1名が報告された。

17) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 21名（4月 15名）。2024年は過去10年間で最大の流行となり、10月をピークに減少したものの、報告は持続している。幡多、高知市、中央東から報告された。

基幹定点の月報疾患

18) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 23名（4月 17名）。中央東、高知市、幡多、安芸から表記の順に多く報告された。

19) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（4月 0名）。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっており、2024年は2名だった。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

【参考】

全数報告

年別全数報告数（令和7年5月）

類型	病名	報告年															
		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
2	結核	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	18
	計	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	53	62	18
3	コレラ	1															
	細菌性赤痢								2								
	腸管出血性大腸菌感染症	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3	7	5	2
	腸チフス						1				1						
	パラチフス																
	計	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3	7	5	2
4	A型肝炎	3					3	1			2					1	1
	E型肝炎	1		1							2	1		1			
	オウム病								1								
	Q熱																
	サル痘														1		
	重症熱性血小板減少症候群				3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	10	10	6
	つつが虫病	2	5	8	3	3		4	11	2	3	3	1	5	11	3	
	デング熱	1			3	2	1				2						
	日本紅斑熱	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12	16	9	11
	日本脳炎	1															
	マラリア		1								1				1	1	
	レジオネラ症	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8	7	8	3
	レプトスピラ症		4	2	1				1						1		
		計	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	47	32
5	アメーバ赤痢	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	1	
	ウイルス性肝炎	3		3		1			2	1	1	2	2	2	1		2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症					7	19	21	22	21	20	10	5	12	9	11	1
	急性弛緩性麻痺									1	2				1	2	
	急性脳炎	1	3	1		1	1	1	1		2	1	1	2			
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3				2			2	1	1	3		1	1		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4	1	6	2
	後天性免疫不全症候群	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6		6	2	4	2
	ジアルジア症		1	1						1							
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	5	3	4	7	3	1	1	3	7	9	4
	侵襲性肺炎球菌感染症				1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	12	18	7
	侵襲性髄膜炎菌感染症						2	1	1	3		3	3	3	1		1
	水痘（入院例に限る）						2	1	1	3		3	3	3	1		3
	梅毒	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	62	40	20
	播種性クリプトコックス症								1	3	5			4	3	1	
	破傷風	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3	1	1	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						1			1							
	百日咳										173	172	35	3	9	7	4
	風しん			4	9	1				3							502
	麻しん																
	計	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	130	114	110	97	544
動物	鳥インフルエンザ	1															
	計	1															
総計		201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	214	224	224	217	196	585

類型	病名	報告月					総計
		1月	2月	3月	4月	5月	
2	結核	4	4	7	1	2	18
3	腸管出血性大腸菌感染症		1	1			2
4	A型肝炎			1			1
	重症熱性血小板減少症候群				1	5	6
	日本紅斑熱					11	11
	レジオネラ症	1		1		1	3
5	ウイルス性肝炎		1	1			2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1		1		2
	後天性免疫不全症候群				1	1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	1		2	4
	侵襲性髄膜炎菌感染症					1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4		2	1		7
	水痘（入院例に限る）	1		1		1	3
	梅毒	4	7	2	3	4	20
	百日咳	1	8	62	164	267	502
総計		15	24	79	172	295	585

高知県感染症情報 月報（55定点医療機関）

2025年

5月

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症 (ARI)	286	1,388	2,963	821	364	902	6,724	3,472	
	インフルエンザ	9	14	25	12	41	19	120	150	70
	新型コロナウイルス 感染症	6	28	59	16	9	14	132	309	677
小児科	咽頭結膜熱		2	22		8	11	43	16	36
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎		30	104	18	47	33	232	175	331
	感染性胃腸炎	7	43	143	53	24	61	331	388	362
	水痘			5	2	7	3	17	20	20
	手足口病		2	31	3		4	40	7	462
	伝染性紅斑		9	21	4	20	4	58	53	3
	突発性発疹		6	13	2	7	5	33	7	39
	ヘルパンギーナ			1			8	9	1	131
	流行性耳下腺炎		2	2	4	1		9	6	5
	RSウイルス感染症		3	23	6	4	43	79	109	137
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			6				6	7	
STD	性器クラミジア感染症			8				8	8	7
	性器ヘルペスウイルス 感染症						1	1	3	
	尖圭コンジローマ						2	2		1
	淋菌感染症								1	1
基幹	細菌性髄膜炎									1
	無菌性髄膜炎			1				1	1	
	マイコプラズマ肺炎		2	12			7	21	15	10
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルス であるものに限る)		1	4			2	7	3	
	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症	1	4	16			2	23	17	32
	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌 感染症									
計		23	146	496	120	168	219	1,172	1,296	2,325
前月		40	245	518	117	158	218			
前年同月		122	504	1,001	160	148	390			
小児科定点数		1	4	8	2	2	3			

高知県感染症情報 月報（55定点医療機関）

2025年

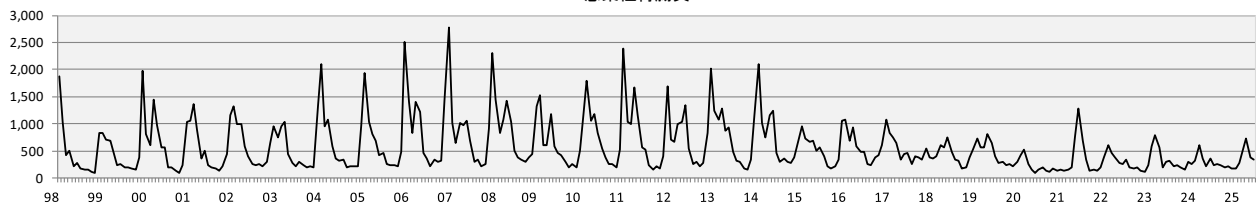
5月

定点当たりの人数

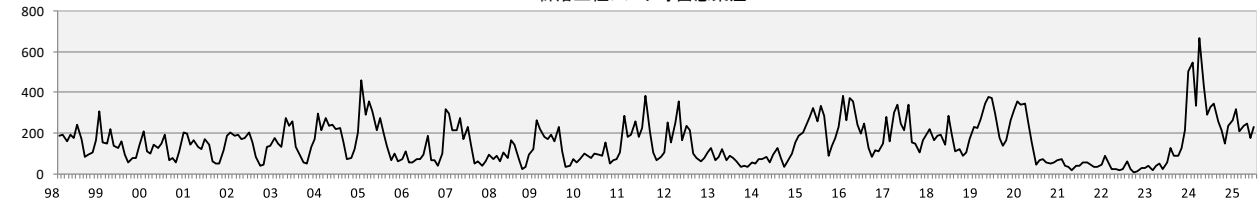
定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前月	前年同月
急性呼吸器感染症	急性呼吸器感染症（ARI）		95.33	198.29	227.92	205.25	91.00	128.86	176.95	91.37	
	インフルエンザ		3.00	2.01	1.93	3.00	10.25	2.71	3.16	3.85	1.59
	新型コロナウイルス感染症		2.00	3.99	4.54	4.00	2.25	2.00	3.48	7.76	15.38
小児科	咽頭結膜熱			0.50	2.76		4.00	3.66	2.15	0.77	1.44
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			7.50	13.01	9.00	23.50	11.00	11.60	8.43	13.24
	感染性胃腸炎		7.00	10.75	17.89	26.50	12.00	20.34	16.55	18.43	14.48
	水痘				0.64	1.00	3.50	1.00	0.85	0.96	0.80
	手足口病			0.50	3.89	1.50		1.34	2.00	0.34	18.48
	伝染性紅斑			2.25	2.64	2.00	10.00	1.33	2.90	2.59	0.12
	突発性発疹			1.50	1.64	1.00	3.50	1.66	1.65	0.34	1.56
	ヘルパンギーナ				0.13			2.66	0.45	0.05	5.24
	流行性耳下腺炎			0.50	0.26	2.00	0.50		0.45	0.28	0.20
	RSウイルス感染症			0.75	2.90	3.00	2.00	14.34	3.95	5.15	5.48
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎				6.00				2.00	2.34	
STD	性器クラミジア感染症				4.00				1.33	1.33	1.17
	性器ヘルペスウイルス感染症							0.50	0.17	0.50	
	尖圭コンジローマ							1.00	0.33		0.17
	淋菌感染症									0.17	0.17
基幹	細菌性髄膜炎										0.13
	無菌性髄膜炎				0.20				0.13	0.13	
	マイコプラズマ肺炎			2.00	2.40			7.00	2.64	1.89	1.26
	クラミジア肺炎（オウム病は除く）										
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）			1.00	0.80			2.00	0.88	0.38	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1.00	4.00	3.20			2.00	2.88	2.13	4.00
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
小児科定点分計			12.00	30.25	52.23	53.00	71.50	62.04	49.19	48.95	78.01
前月			15.66	43.69	52.51	41.75	56.25	59.17			
前年同月			44.00	69.87	94.69	60.75	62.50	88.90			

注目される疾患の月別推移

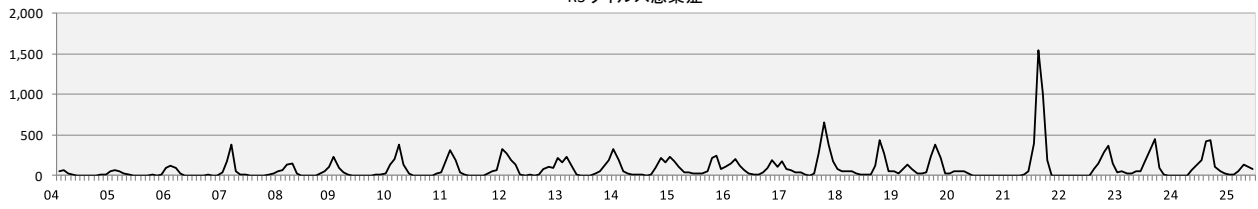
感染性胃腸炎



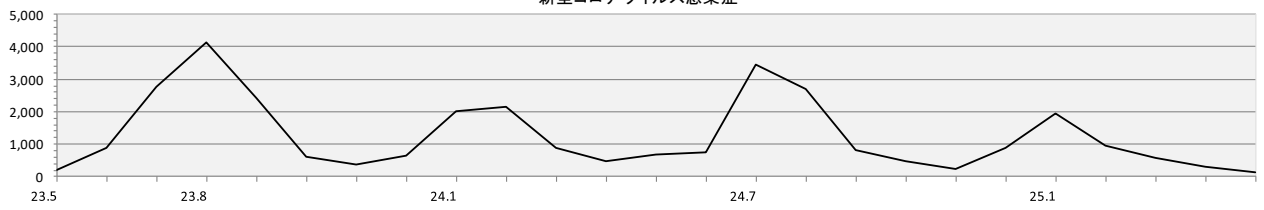
A群溶血性レンサ球菌感染症



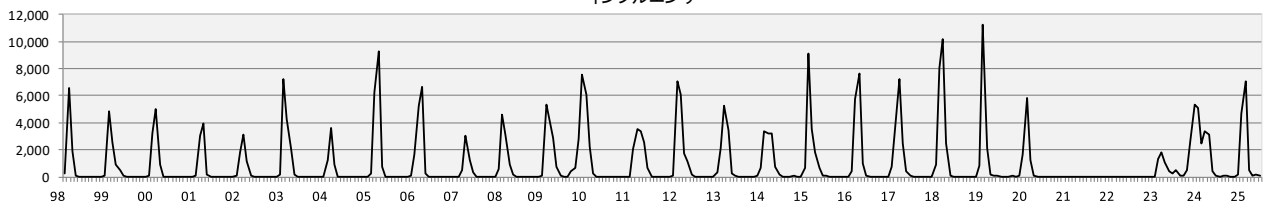
RSウイルス感染症



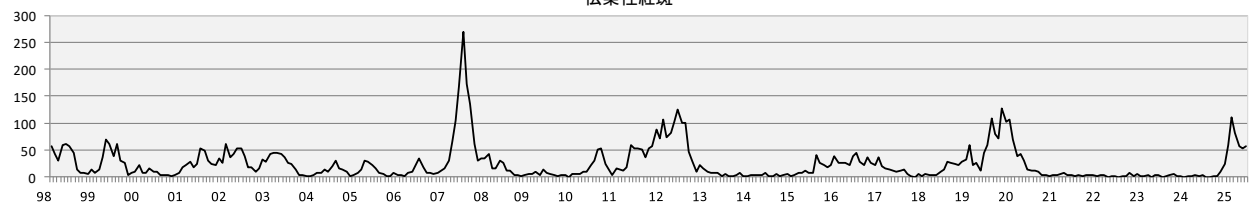
新型コロナウイルス感染症



インフルエンザ



伝染性紅斑



2025年5月

検査情報

ウイルス，細菌の分離状況

令和7年5月はウイルス76件の搬入があり、そのうち ウイルス79件の病原体を検出し、4月に搬入された検体からウイルス21件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 1 2件、Adenovirus 2 7件、Adenovirus 41 1件、Adenovirus 54 1件、Adenovirus NT 1件、Echovirus 18 1件、Epstein-Barr virus 2件、Human herpes virus 6 3件、Human herpes virus 7 7件、Human metapneumovirus 1件、human parvovirus B19 9件、Influenza virus B/Victoria 1件、Norovirus GII NT 1件、Parainfluenza virus 3 10件、Parainfluenza virus 4 1件、Parainfluenza virus NT 2件、Respiratory syncytial virus A 5件、Respiratory syncytial virus B 4件、Rhinovirus 19件、Rotavirus group A G3 1件、Rotavirus group A G8 2件、Rotavirus group A NT 1件、Sapovirus genogroup unknown 2件、SARS-CoV-2 14件、Varicella-zoster virus 2件であった。

ウイルス，細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	51	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃，咳嗽，肺炎，	唾液	3/12	SARS-CoV-2
2	89	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	—	唾液	3/15	SARS-CoV-2
3	83	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	咳嗽，	唾液	3/18	SARS-CoV-2
4	13	男	COVID19	38℃，咳嗽，	唾液	3/28	SARS-CoV-2
5	10	男	COVID19	39℃，咳嗽，	ぬぐい液	4/2	SARS-CoV-2
6	5か月	女	新型コロナウイルス感染症	40℃，	ぬぐい液	4/4	SARS-CoV-2
7	7	男	COVID19	39℃，咳嗽，	鼻咽頭ぬぐい液	4/4	SARS-CoV-2
8	72	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	咳嗽，肺炎，	唾液	4/4	SARS-CoV-2
9	56	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃，肺炎，	喀痰	4/6	SARS-CoV-2(解析不能)
10	77	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	38℃，	喀痰	4/7	SARS-CoV-2(解析不能)
11	74	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃，	鼻咽頭ぬぐい	4/8	SARS-CoV-2
12	16	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃，咳嗽，	鼻咽頭ぬぐい	4/11	SARS-CoV-2(解析不能)
13	9か月	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃，咳嗽，	鼻汁	4/14	Rhinovirus
14	6か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	37℃，咳嗽，	鼻汁	4/14	Rhinovirus
15	6	女	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃，	ぬぐい液	4/15	SARS-CoV-2
16	15	男	急性呼吸器感染症（COVID19）	39℃，関節痛，	ぬぐい液	4/16	SARS-CoV-2
17	6	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃，	鼻汁	4/16	Rhinovirus
18	24	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽，	鼻咽頭ぬぐい液	4/17	Rhinovirus
19	7	女	—	—	ふん便	4/18	Norovirus GII NT
20	6	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽，	鼻咽頭ぬぐい液	4/21	Parainfluenza virus 3 Parainfluenza virus 4 Rhinovirus
21	4	女	感染性胃腸炎	38℃，嘔吐，腹痛，	ふん便	4/21	Rotavirus group A G8
22	1	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃，	鼻咽頭ぬぐい液	4/21	Rhinovirus
23	1	女	感染性胃腸炎	下痢，嘔吐，	ふん便	4/24	Adenovirus 2
24	10	男	—	39℃，発疹，筋肉痛，	ぬぐい液	4/24	human parvovirus B19 Human herpes virus 7
25	1	男	RSウイルス感染症	38℃，咳嗽，	鼻汁	4/25	Respiratory syncytial virus A Rhinovirus
26	6	男	伝染性紅斑	結膜炎，	ぬぐい液	4/28	Human herpes virus 6
27	3	男	感染性胃腸炎	嘔吐，	ふん便	4/28	Sapovirus genogroup unknown
28	7か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽，	鼻汁	4/28	Rhinovirus
29	2か月	男	RSウイルス感染症	咳嗽，	鼻咽頭ぬぐい液	4/28	Respiratory syncytial virus B
30	5	女	伝染性紅斑	発疹，	ぬぐい液	4/30	Adenovirus 2 human parvovirus B19
31	4	女	RSウイルス感染症	40℃，咳嗽，	鼻咽頭ぬぐい液	4/30	Adenovirus 2 Respiratory syncytial virus A
32	1	男	RSウイルス感染症	39℃，	鼻咽頭ぬぐい液	5/2	Respiratory syncytial virus B
33	1	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃，咳嗽，	鼻咽頭ぬぐい液	5/2	Adenovirus 2 Respiratory syncytial virus B
34	1	女	RSウイルス感染症	39℃，咳嗽，	鼻咽頭ぬぐい液	5/2	Respiratory syncytial virus A
35	4か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽，	鼻咽頭ぬぐい液	5/2	Rhinovirus
36	10	男	不明発疹症	発疹，	ぬぐい液	5/7	Epstein-Barr virus Human herpes virus 7
37	11か月	男	RSウイルス感染症	39℃，咳嗽，	鼻咽頭ぬぐい液	5/8	Respiratory syncytial virus A
38	9	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽，上気道炎，	ぬぐい液	5/9	Parainfluenza virus 3
39	3	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃，咳嗽，上気道炎，	ぬぐい液	5/9	Adenovirus 2 Parainfluenza virus 3
40	2	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽，	鼻汁	5/9	Respiratory syncytial virus A
41	3か月	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃，下痢，咳嗽，上気道炎，発疹，	ぬぐい液	5/10	Parainfluenza virus 3
42	9	女	伝染性紅斑	38℃，咳嗽，発疹，	ぬぐい液	5/12	Epstein-Barr virus
43	9	男	感染性胃腸炎	下痢，嘔吐，腹痛，	ふん便	5/12	Adenovirus 41 Rotavirus group A NT
44	9か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃，咳嗽，	鼻汁	5/12	Human metapneumovirus
45	8	男	伝染性紅斑	38℃，発疹，	ぬぐい液	5/13	human parvovirus B19
46	5	女	不明発疹症	発疹，	ぬぐい液	5/13	Human herpes virus 7
47	1	女	不明発疹症	40℃，発疹，	ぬぐい液	5/13	human parvovirus B19
48	11か月	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	37℃，咳嗽，	鼻汁	5/13	Parainfluenza virus 3 Rhinovirus

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
49	12	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 関節痛,	ぬぐい液	5/14	Rhinovirus
50	5	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	5/14	human parvovirus B19 Human herpes virus 7
51	2	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽,	鼻汁	5/14	Adenovirus 1 Parainfluenza virus 3 Respiratory syncytial virus B Rhinovirus
52	3か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽,	鼻咽頭ぬぐい液	5/14	Echovirus 18 Rhinovirus
53	1	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽,	鼻汁	5/15	Adenovirus NT Parainfluenza virus 3
54	11	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	5/16	human parvovirus B19 Human herpes virus 7
55	1	女	不明発疹症	40℃, 咳嗽, 発疹,	ぬぐい液	5/16	Human herpes virus 6 Parainfluenza virus NT
56	1	男	—	39℃, 咳嗽, 発疹,	ぬぐい液	5/16	Human herpes virus 6 Parainfluenza virus NT
57	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽, 上気道炎,	ぬぐい液	5/16	Rhinovirus
58	1か月	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃,	鼻咽頭ぬぐい液	5/16	Rhinovirus
59	12	女	水痘	38℃, 発疹,	ぬぐい液	5/17	Varicella-zoster virus
60	10	女	水痘	39℃, 発疹,	ぬぐい液	5/17	Human herpes virus 7
61	10	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃,	ぬぐい液	5/19	Influenza virus B/Victoria
62	8	男	感染性胃腸炎	嘔吐,	ふん便	5/19	Rotavirus group A G8
63	5	男	水痘	38℃, 発疹,	ぬぐい液	5/19	Varicella-zoster virus
64	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	40℃, 咳嗽,	ぬぐい液	5/19	Parainfluenza virus 3
65	1か月	女	—	39℃, 咳嗽, 肺炎,	ぬぐい液	5/19	Rhinovirus
66	1	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽,	鼻汁	5/19	Parainfluenza virus 3
67	4か月	女	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽,	鼻汁	5/19	Adenovirus 2 Rhinovirus
68	2	男	—	38℃, 嘔吐,	ぬぐい液	5/20	human parvovirus B19
69	1	女	不明熱	40℃,	ぬぐい液	5/20	Rhinovirus
70	5	女	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	5/20	human parvovirus B19 Adenovirus 54
74	8か月	男	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽,	鼻汁	5/21	Parainfluenza virus 3 Rhinovirus
72	1	女	—	38℃,	ふん便	5/22	Adenovirus 1
73	7	男	咽頭結膜熱	39℃,	ぬぐい液	5/23	Adenovirus 2
74	4	男	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	5/23	Rotavirus group A G3
75	2	男	感染性胃腸炎	下痢, 嘔吐,	ふん便	5/24	Sapovirus genogroup unknown
76	11	男	伝染性紅斑	39℃, 発疹,	ぬぐい液	5/26	human parvovirus B19 Human herpes virus 7

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2025年					2025 年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1			2	1		3
	計			2	1		3
RSウイルス感染症	Adenovirus 2					1	1
	Respiratory syncytial virus A					4	4
	Respiratory syncytial virus B					2	2
	Rhinovirus					1	1
	計					8	8
咽頭結膜熱	Adenovirus 2					1	1
	Adenovirus 5			1			1
	Rhinovirus		1				1
	計		1	1		1	3
インフルエンザ	Epstein-Barr virus			1			1
	Influenza virus A H1pdm09	15	2				17
	Influenza virus A NT	1					1
	Influenza virus A H3 NT	3	2	1			6
	Influenza virus B/Victoria		2	2	1		5
	計	19	6	4	1		30

臨床診断名	病原微生物	2025年					2025 年総計
		1月	2月	3月	4月	5月	
感染性胃腸炎	Adenovirus 2		1		1		2
	Adenovirus 41				1	1	2
	Astrovirus NT			1			1
	Norovirus GII NT		2	7	7		16
	Rhinovirus				1		1
	Rotavirus group A G3					1	1
	Rotavirus group A G8		1		1	1	3
	Rotavirus group A NT					1	1
	Sapovirus genogroup unknown			1	2	2	5
	計		4	9	13	6	32
新型コロナウイルス感染症	SARS-CoV-2	22	21	12	4		59
	計	22	21	12	4		59
水痘	Human herpes virus 7					1	1
	Varicella-zoster virus	1				2	3
	計	1				3	4
手足口病	Enterovirus71	1	1				2
	Epstein-Barr virus	1					1
	Human herpes virus 6		1				1
	Rhinovirus		1				1
	計	2	3				5
伝染性紅斑	Adenovirus 2					1	1
	Adenovirus 41				1		1
	Adenovirus 54					1	1
	Epstein-Barr virus					1	1
	Human herpes virus 6		1			1	2
	Human herpes virus 7		1		7	3	11
	Human metapneumovirus			1			1
	human parvovirus B19		1	2	7	6	16
	計		3	3	15	13	34
突発性発疹	Human herpes virus 6	1	1				2
	計	1	1				2
ヘルパンギーナ	Rhinovirus				1		1
					1		1
その他	Adenovirus 1					1	1
	Adenovirus 2		1		1		2
	Cytomegalovirus		1	1	1		3
	Echovirus 18		1				1
	Epstein-Barr virus			2	1	1	4
	Human herpes virus 6		1	2	3	2	8
	Human herpes virus 7				2	3	5
	Human metapneumovirus		2				2
	human parvovirus B19	1		2	1	3	7
	Norovirus GII NT		1	1	2	1	5
	Parainfluenza virus NT					2	2
	Respiratory syncytial virus B	1					1
	Rhinovirus	1	2	1	2	2	8
	Sapovirus genogroup unknown				1		1
	Varicella-zoster virus				1		1
	<i>Escherichia coli</i> astA, aggR (+)	1					1
	計	4	9	9	15	15	52
総計		49	48	40	50	46	233

臨床診断名	病原微生物	2025年		2025年 総計
		4月	5月	
急性呼吸器感染症	Adenovirus NT	1	1	2
	Adenovirus 1		1	1
	Adenovirus 2		3	3
	Echovirus 18		1	1
	Human metapneumovirus	3	1	4
	Influenza virus B/Victoria	6	1	7
	Parainfluenza virus 3		10	10
	Parainfluenza virus 4		1	1
	Respiratory syncytial virus	1		1
	Respiratory syncytial virus A		1	1
	Respiratory syncytial virus B	3	2	5
	Rhinovirus	14	11	25
	SARS-CoV-2	20		20
検査検体数		28	28	56
検出率 (%)		96.4	75.0	85.7